



「知のフォーラム」21世紀の支倉常長プロジェクト推進企画 「日本学における知の創出セミナー」

日本学セミナーは、日本を「対象」とする研究や、日本からの「視点」を重視する研究を広く「日本学」と捉えることにより、多様な日本学研究者の研究交流を促進し、東北大学における日本学の研究力強化を図ることが目的です。2016年度「知のフォーラム」テーマプログラムの一つである「21世紀の支倉常長プロジェクト」(オーガナイザー：尾崎彰宏 文学研究科教授ほか)の一環として開催しています。



Seminars on Japanese Studies as an
Interdisciplinary Meeting Point

第3回 日本学セミナー 日本の建築と日本建築論

講師：五十嵐 太郎（東北大学大学院工学研究科 教授）

現在、日本の建築家は国際的に高い評価を獲得している。例えば、SANAAはルーブル美術館の別館、坂 茂はポンピドー美術館の別館、谷口 吉生は MOMAの増改築を手がけたように、世界最高峰の美術館の新規プロジェクトをいずれも日本人が担当した。建築界のノーベル賞と言われるプリツカー賞は、国別の通算で、日本は1位のアメリカにつぐ受賞回数である。まずこうしたグローバリズムの時代における日本の現代建築家の状況を紹介しつつ、彼らを生みだす背景となった近代以降の建築論を振り返る。その主軸は日本的なものをめぐる議論であり、モダニズムや新しいテクノロジーをいかに受容し、日本の伝統と接続させるかを探求してきた。丹下 健三、磯崎 新、黒川 紀章、菊竹 清訓、槇 文彦、白井 晟一、隈 研吾ほか、多くの建築家のとりくみを見ていく。

日 時：2015年 **12月17日** (木) 16:30～18:00

会 場：東北大学川内南キャンパス
文科系総合研究棟 11階 大会議室

※ 前回までとは会場が異なりますのでご注意ください

事前申込：不要 ※どなたでもご参加いただけます

事務局：塩谷 芳也（知の創出センター特任助教、プログラムコーディネータ）
email shiotani@m.tohoku.ac.jp

主 催：知の創出センター
尾崎 彰宏（文学研究科 教授）



TOHOKU FORUM
for CREATIVITY

www.tfc.tohoku.ac.jp

Supported by



TOKYO ELECTRON